

<株式会社エフエム東京 第 465 回放送番組審議会>

1. 開催年月日：令和 2 年 2 月 4 日（火）
2. 開催場所：エフエム東京 本社 10 階 大会議室
3. 委員の出席：委員総数 6 名（社外 6 名 社内 0 名）

◇出席委員（4 名）

横 森 美 奈 子 委員長	内 館 牧 子 委員
ロバート キャンベル 委員	川 上 未 映 子 委員

◇欠席委員（2 名）

渡 辺 貞 夫 委員	秋 元 康 委員
------------	----------

◇社側出席者（8 名）

黒 坂 代表取締役社長  
西 川 取締役副社長  
小 川 常務取締役  
内 藤 執行役員編成制作局長  
延 江 編成制作局ゼネラルプロデューサー  
宮 野 編成制作局次長 兼 編成部長  
若 杉 編成制作局制作部長  
松任谷 編成制作局制作部チーフプロデューサー

◇社側欠席者（0 名）

【事務担当 内藤放送番組審議会事務局長】

4. 議題：番組試聴（約 24 分）  
『桑田佳祐のやさしい夜遊び』 TOKYO FM/JFN38 局ネット  
12 月 25 日(土)23:00～23:55 放送

《議事内容》

議題 1:最近の活動について

■ 2019 年 12 月度 聴取率調査結果について

2019 年 12 月度の首都圏ラジオ合同聴取率調査結果が、ビデオリサーチより発表されました。（調査対象期間：2019 年 12 月 9 日～12 月 15 日）

当社コアターゲット M1F1 層（男女 20～34 歳）の全日平均において、今回は前回 10 月度からスコアが上昇し、順位では在京第 2 位となりました。特に平日では 20 代でトップ、土曜は 20 代、30 代でトップ、日曜は 20 代でトップを獲得しておりますが、ボリューム層の 40 代や 50 代では他局との差がまだあり、課題を残しました。

今後の対策につきましては平日ワイド番組をはじめとし、一日を通して TOKYO FM を聴取しやすい継続聴取対策、これまでの M1F1 区分だけにとらわれず、編成改革の方針に基づき、カルチャー、エンターテインメントへの感度の高い聴取者の鑑賞に堪えうる企画内容や、深みのある選曲の具現化に向けて再検証を継続して参ります。

また、土日の番組スコアについても、12 月は少し上昇が見られたものの、編成に統一性が欠如している等の要因により時間帯により数字にばらつきがあり、他局比ではまだ課題を抱えています。

平日同様に改めて聴取者の継続聴取を促進し、各番組がブリッジしながら良質な時間を提供できるようなゾーニングの再構築を、来る 4 月改編以降、喫緊の課題として各改編期毎に段階的に進めてまいります。

次回 2 月度調査においては早急に全番組・全ゾーンで番組内容の強化、継続聴取対策、リーチ対策に努め、TOKYO FM の顔づくり強化を主眼に置いた 4 月改編にシフトして参ります。

■ TOKYO FM/JFN 年末年始特番『ONE LOVE ～声でつなぐ、2019→2020～』

TOKYO FM をはじめとする JFN38 局では、2019 年 12 月 31 日（火）23:00～2020 年 1 月 1 日（水）1:00、東京ディズニーリゾート内「イクスピアリ」から年末年始特別番組『ONE LOVE ～声でつなぐ、2019→2020～』を公開生放送でお届けしました。パーソナリティは、平日朝 6:00～TOKYO FM をはじめとする JFN 全国 38 局ネットで放送中のニュースワイド番組『ONE MORNING』の鈴木健一氏とハードキャススル エリザベス氏。ゲストには、女優でタレントの足立梨花氏を迎え、平成から令和への改元、台風被害やラグビー W 杯日本チ

ームの躍進など、今年、日本を騒がせた出来事のニュース音声を紹介しながら、様々な角度から、2019年という1年を振り返りました。

年越しへ向かう瞬間は、舞浜イクスピアリのスタジオと、東京・銀座のランドマークでもある銀座和光をライブで結び、カウントダウンの様子を二元中継。さらに、新年最初の音楽として、藤巻亮太のスペシャルライブをスタジオよりお届けしました。年が明けた後は、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックについての乙武洋匡氏へのインタビュー、そして、全国のリスナーからメッセージ募集した「2020年の夢」をテーマにしたスペシャルラジオドラマを放送。公開生放送会場となったイクスピアリの「セレブレーション・プレザ」には、屋外の極寒の中にも関わらず、1300人~1500人（イクスピアリ把握人数）が集まり、新しい時代の幕開けとなる放送となりました。



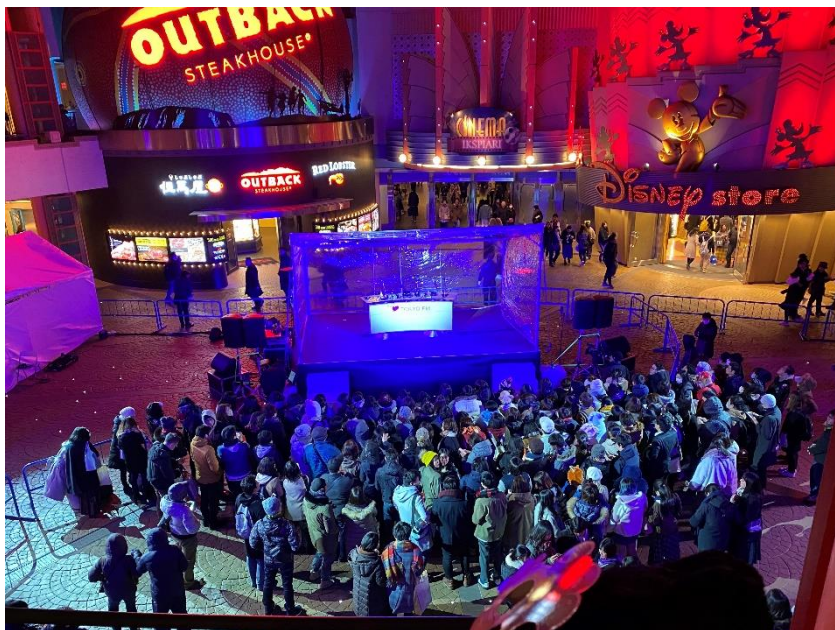
▲鈴木健一



ハードキャッスル エリザベス



足立梨花



▲イクスピアリからの公開生放送の様子



▲新年の花火

**【委員の意見および社側説明】**

(「○」委員意見／「■」社側意見)

○聴取率については、前回より少し回復が見られたようで良かった。継続聴取対策にマニュアルを作成したと口頭で説明があったが、これはどのようなものなのか。

■途中でチャンネルを変えられないような番組作りの趣旨で作られたもので、改めて基本的なことをやろう、というもの。例えば、ゲストを迎えている番組で、最初にゲスト名を紹介しただけで、そこから 10 分以上ゲスト名を言わずに進行すると途中から聴いた人が、今番組に誰が出ているのか分からないので、さりげなく数分おきにゲスト名を伝えていく、など、そういう細かいけれど基本的なことなどを記載したものになる。

**議題 2 : 番組試聴**

**【番組名】**

『桑田佳祐のやさしい夜遊び』

**【放送日時】**

2019年12月25日（土）23:00～23:55 TOKYO FM/JFN38局ネット

**【番組概要】**

本日ご視聴いただくのは、毎週土曜 23:00～23:55、TOKYO FM をはじめとする JFN 全国 38 局ネットでお届けしている『桑田佳祐のやさしい夜遊び』の 12 月 25 日（土）放送のダイジェストです。

『桑田佳祐のやさしい夜遊び』は、1995 年 4 月にスタートし、アーティスト桑田佳祐氏が、時に音楽講座、時にはその時事に適した話題など、毎週自由な雰囲気トークを繰り広げています。

今回ご視聴いただく 12 月 25 日の放送は、「桑田佳祐が選ぶ、2019 年邦楽シングル・ベスト 20」と題し、桑田佳祐氏が選ぶ 2019 年の邦楽シングル曲を紹介した回です。不定期開催ながら、桑田佳祐氏独自の視点で、その楽曲へのコメントとともに紹介する、年末の大人気企画となっています。

**【委員の意見および社側説明】**

(「○」委員意見／「■」社側意見)

○サザンオールスターズがまだデビューして少しの頃、音楽関係者から、桑田佳祐という、とんでもない天才がいる、本当にすごい才能だから手を加えず、彼の好きにやらせたい、と熱弁されたことがある。今回の放送を聴いていたらそのことを思い出した。桑田佳祐氏という天才が自由にやっているのが感じられるトーク、ラジオだった。視聴した放送回の「桑田佳祐が選ぶ、2019年邦楽シングル・ベスト 20」の各曲へのコメントも、独自で、ユーモアに溢れていて、聴いていて思わず吹き出してしまうような、桑田氏のセンスが良く表現されたトークだった。あまり制作側がコントロールしようとせず、このまま自由にやらせてほしい、とも感じた。

○この番組を聴いたときに、リスナーは、まるで桑田氏と居酒屋で一緒に飲みながら音楽の話をしているような気持ちになると思う。時にふざけたり、時にまじめなことを言ったり、そういうことを共有するのではないかと感じる。このままのスタイルでいてほしい番組。

○制御不能なところに魅力を感じた。流暢な音楽評ではなく、短い言葉で、時にミーム的に表現している。時には楽曲のテンポの速さを分析的に表現するなど、揶揄をしながらも楽曲やアーティストへのリスペクトが感じられてとても良かったと思う。

○全体を通して楽しく拝聴した。知らない曲もたくさんあって、いろいろなジャンルの曲をお聴きなんだな、と思った。コメントの一言一言も独自の視点で、桑田氏のミュージシャンとしてのアイデンティティを感じた。

○この独自の語り口はとても面白いし、桑田氏のファンが楽しく聴いているのも伝わってくる。しかし、最近の若者や海外メディアはセクシャル発言に敏感なので、若い人がこれをどう聴くのかは気になるところ。しかし、いろいろなリスナー層がいるので、このようなセクシャルな発言を好む層はもちろんいるので、この番組自体はこのままでいいと思う。

○台本通りに話すのではなく、桑田氏が自由に話しているのが分かる。台本を読むのではなく、自由に話すのは聞き心地がいいと改めて思った。そういう意味では継続聴取されやすい番組ともとれる。桑田佳祐氏は本当に素晴らしいアーティストであるが、私自身がとりわけすごいファンという訳でもない、しかし、この

番組を聴いていて、くすっと笑えるポイントが多かった。

○与太話がとても上手な方だと思う。理論づけて話すのではなく、普通の人と同じことを話したら支離滅裂に聞こえてしまいそうな、単語的で思い付きの発言が、桑田氏だと大変面白く聴くことができる。ここで紹介した楽曲は本人が選んだわけではないのだろうか？そのくらい適当な語り口なのに、ちゃんと伝わってくるのがすごい。

○好感を持てたのは、全てのアーティストと楽曲に対して、全く上から目線ではないところ。嫉妬する、や、悔しいな、という表現を素直に伝えていて、これだけの大物になっても敬意があるなと感心した。

○この番組が広く支持されていて、ファンをはじめとする層から強い支持があるのは分かる。今度はそれに続く、次の世代の価値観なども局として発掘して欲しいと考える。

6.議事内容を以下の方法で公表した。

① 放送:番組「Ready Saturday Go」

2月29日(土) 6:00~6:40 放送

② 書面:TOKYO FM サービスセンターに据え置き

③ インターネット:TOKYO FM ホームページ内 <https://www.tfm.co.jp/>